

児童デイサービス キッズ☆スター 防災マニュアル

2016年 4月 1日 制定

2020年11月 1日 改定

防災の目的

火災・地震・水害・台風などの災害は、いつどこでどのように発生するかわかりません。また、核ミサイル危機も無くなったわけではありません。キッズ☆スターは、障害を抱えた児童とそのご家族の方々が利用されているので、災害や不測の事態への備えと二次災害の未然防止のために、職員・利用者ともに日頃から防災・防犯意識を持つことが必要です。

「災害は忘れた頃にやってくる」と言います。職員一人ひとり、利用者一人ひとりが防災意識を高め、災害発生時の人身事故などの二次災害を防ぐことが大切になってきます。

また「安全なキッズ☆スター」を創っていくためには、職員一人ひとりが「キッズ☆スターの安全は私が守る」という気持ちで、真剣に防災対策に取り組むことも重要です。

災害の種類

このマニュアルでは、以下の災害について記述しています。

- 1 火災
- 2 地震
- 3 台風と大雨
- 4 ミサイルの飛来
- 5 暴漢の乱入

なお、ウィルスや疫病対策については、感染症対策マニュアルを参照してください。

火災について

火災に対する考え方と最初の一步

キッズ☆スターは**普段は火を使いません**。したがって火災の主たる原因は漏電であると考えられます。

火災の消火と避難誘導も、漏電を中心に対応していく必要があります。

1階：入り口左手の縦長の分電盤の「**主幹漏電ブレーカ**」を「**切**」に倒します。（写真1参照）

2階：階段脇にある「**主幹漏電ブレーカ**」を「**切**」に倒します。（写真2参照）

一般には初期消火が大事と言われていますが、キッズ☆スターでは避難誘導・救護活動と初期消火を並行して行います。なお初期消火と避難誘導・救護活動を並行して行うことが困難な場合は、初期に完全消火が可能な場合以外には、避難誘導・救護活動を優先して行います。

火災時の避難誘導・救護活動のポイント

① 外の避難場所は、以下の通りとします。

東風のとき：キッズ☆スター東側の小久保西公園

西風のとき：中谷公民館の庭

南風、北風の時：火元の位置と煙などに気をつけて臨機のルートで中谷公民館の庭

② 避難する時は、手荷物などは持たないで避難します。

③ 濡れタオルなどで口をふさぎながら背を低くして避難します。

④ 利用者に**冷静に分かりやすい内容で説明**をし、**戻らないように見守り**ながら避難します。

特に障害児童や視聴覚障害のある方には**注意**が必要です。

⑤ 自力で避難できない方は、**抱きかかえる、背負う**などして援助・誘導します。

⑥ 避難場所まで**あわてずゆっくりと移動**し、**移動中の転倒**に注意します。

⑦ 避難後は、利用者の**混乱・興奮**を鎮め、**うろついたり転んだり**しないよう注意します。

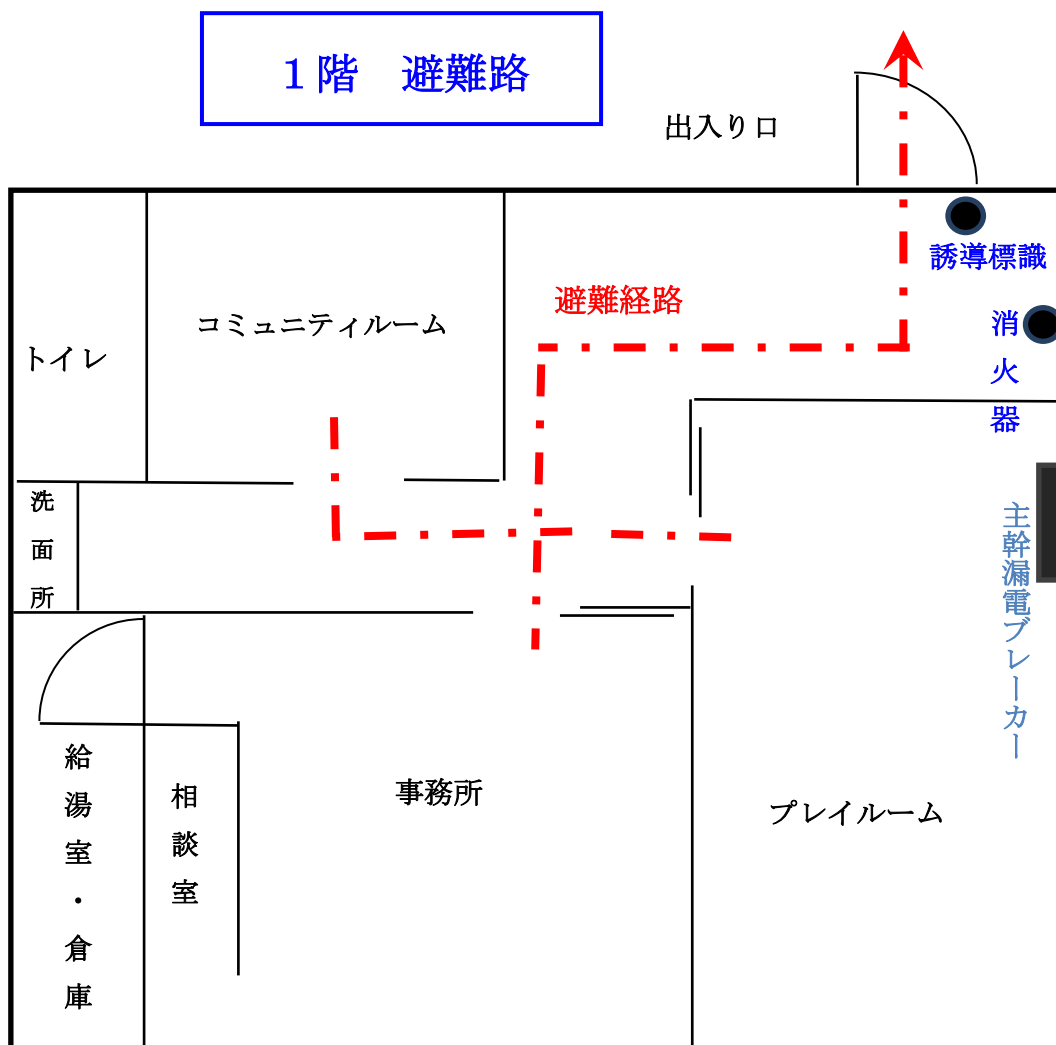
⑧ **ケガ**がないかどうか確認します。

⑨ **全員の避難が完了**したかどうか確認します。

初期消火のしかた	消火器を使うポイント
① 設置位置にある消火器を火元まで搬送します。	① できるだけ火元に近づきます。
② 安全ピンを抜きます。	② 姿勢をなるべく低くして煙や炎を避けながら噴射します。
③ ノズルを火元に向けます。	③ 消えたと思ってもよく確認し、再び燃えださないように水をかけて消火します。
④ レバーを強く握ります。	④ 初期消火に失敗して避難する場合は、火災発生室のドアを閉めます。
⑤ 燃えているものに直接噴射します。	

屋内からの避難（1） 外の建物が火事の場合（1階・2階共通）

- ① 利用者は、落ち着いて出入口から退避します。
- ② スタッフは、窓を閉め、主幹漏電ブレーカーをOFFにします。
- ③ 利用者が全員避難してから、スタッフが避難します。

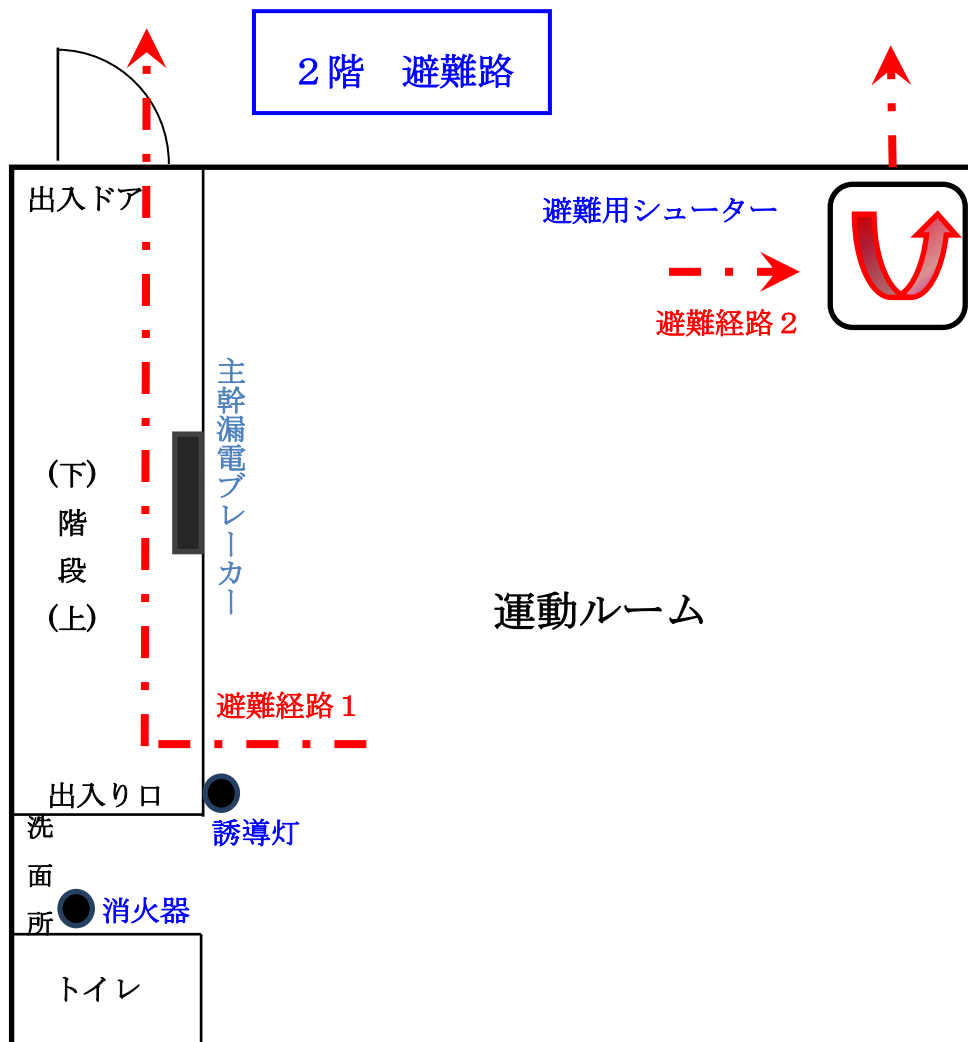


屋内からの避難（2） 1階からの避難

- ① 利用者は、落ち着いて出入口から退避します。
- ② スタッフは、窓を閉め、主幹漏電ブレーカーをOFFにします。
- ③ 利用者が全員避難してから、スタッフが避難します。

屋内からの避難（3） 火元が2階で階段が使える場合

- ① 利用者は、スタッフの指示に従い、落ち着いて階段を利用して降り、屋外に退避します。布を口にあて、背を低くし、転倒などに注意しながら降ります。
- ② スタッフは、降りる際に、主幹漏電ブレーカーをOFFにします。
- ③ 火元が分かって消火可能と判断したら、消火器を使って消火します。
- ④ 火元が分からない場合は（天井裏など）、窓および出入り口を閉めて退避します。



屋内からの避難（4） 火元が下のほうにあり階段が使えない場合

- ① 階段が煙突状態になる可能性があるため、入り口の扉を閉めて煙の進入を防ぎます。
- ② シューターの回りを大きく空けて、スペースを確保します。
- ③ シューターをおろします。
- ⑤ 降りてきた利用者をサポートするために、スタッフが一人、先にシューターで降ります。
- ⑥ 利用者の親子を、一家族ずつ親→子の順で降ろします。（怖がる場合は、大人がサポートして一緒に降ります）
- ⑦ 利用者が全員避難してから、スタッフが避難します。

主幹漏電ブレーカーの操作について

1階の主幹漏電ブレーカー



1. 分電盤のレバーをひく



2. 扉を開ける

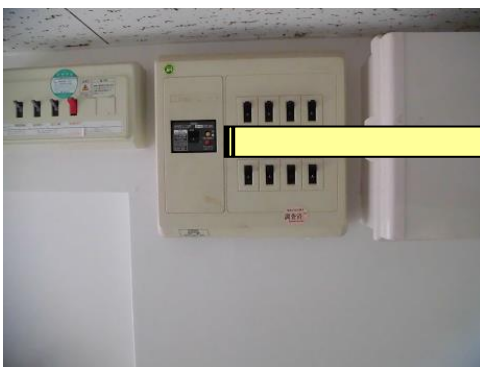


3. 主幹ブレーカーを下げる

- ・ 玄関に入って左側の分電盤の中に主幹漏電ブレーカーがあります。
- ・ P3の配置図を参照してください。

写真1

2階の主幹漏電ブレーカー



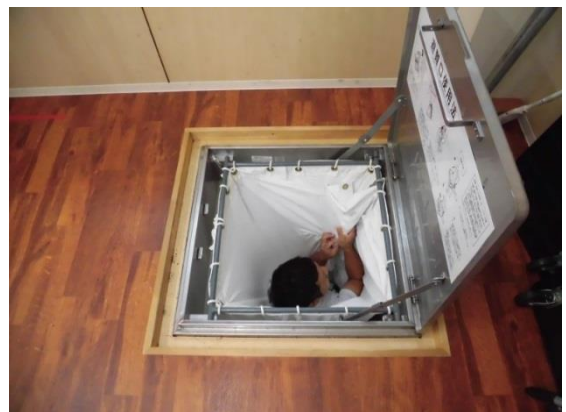
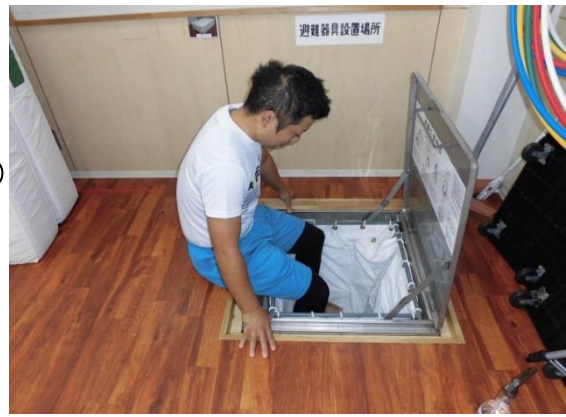
1. 主幹ブレーカーを下げる

- ・ 2階への階段の左側に主幹漏電ブレーカーがあります。
- ・ P4の配置図を参照してください。

写真2

避難シューターの使い方

- ① 床にすわり、足を穴に入れます。
- ② 体を入れます。
- ③ ひもを持って、足を伸ばします。



- ④ 降ります。
- ⑤ すわって足を外に出します。
- ⑥ はだしで外に立ちます。

注：あらかじめ先に降りた人は、周囲の安全を確認し、降り口を広げて確保します。

建物の外に出たら

防災責任者の指示に従い、あらかじめ決められた避難場所へ移動します。

●小久保西公園



地震について

地震についての考え方と最初の一步

地震はいきなりやってきます。あわてて動くとかえってけがをしたり、被害を拡大することになります。先ず身の回りに物が無い場所で揺れがおさまるのを待ち、**ゆっくり落ち着いて**行動します。

キッズ☆スターの構造は鉄骨が構造を支えるかたちですので、そう簡単には倒壊しません。

大きな地震の場合は、余震が来ることを想定し、震度や震源の情報を把握するように努めます。

揺れが収まった後全ての火元になるもののスイッチを切ります。でも主幹漏電ブレーカーは切りません。

地震時の避難誘導・救護活動のポイント

- ① **先ず身の安全**を確保します。シートクッションや布団などで頭を保護しながら、**机・マットなどの下にもぐります**。
- ② 利用者さんの安否を確認します。
- ③ すばやく火元になるもののスイッチを切ります。湯沸かし器などはコンセントを抜きましょう。
- ④ 利用者さんが慌てて外へ飛び出さないように注意します。
- ⑤ **ドアを全て開け**、避難経路を確保します。
- ⑥ 窓ガラスなどが割れ落ちていないかなど、**建物内の障害物がないか確認し**、障害物があれば取り除きます。またマットを敷くなどして足を割れたガラスから守ります。さらに運動をするために裸足になっていることが多いので、**靴やサンダルを履いてもらいます**。
- ⑦ テレビ・ラジオ・電話・インターネットなどで情報を収集し、**建物の倒壊や火事の恐れがない限り外への避難は行いません**。
- ⑧ **大規模地震**で避難する場合は、**消防署・行政などの指示に従って行いますが**、先ずはキッズ☆スター東側の小久保西公園へ誘導します。『火災時の避難誘導・救護活動のポイント』を参考にします。
- ⑨ 避難後は**余震に注意し**、**避難場所から動かないように**します。
- ⑩ キッズ☆スターの所在地では、**南海トラフ巨大地震で震度6弱、内陸型地震（直下型）で震度6強**が想定されています。
- ⑪ 東北太平洋沖地震では、**津波**により大きな被害を受けました。基本的に明石市域は瀬戸内海に面しており、また、キッズ☆スターは**標高22m地点**にあり、津波による被害を受けることはないと考えています。しかし、**万が一20m以上の大津波警報が発令された場合には、鳥羽小学校まで避難すること**とします。

台風・大雨洪水警報等について

台風や大雨についての考え方と最初の一步

台風や大雨は予想がつくものです。テレビやラジオ・インターネットで情報を収集し、十分な対策を準備します。キッズ☆スターの周辺はため池と用水路しかありませんが、距離があるので水を被ったり土砂崩れが起こることは先ずないと考えられます。従って雨よりも風の対応を考えておきます。

台風・大雨時の対応のポイント

- ① テレビやラジオ・インターネット等で周辺の状況を把握します。
- ② 懐中電灯・非常用水を確認します。
- ③ 鉢やプランター等を1階の玄関など、風の影響を受けないところへ移します。
- ④ キッズ☆スターはガラス戸が多いので、割れたガラスによる怪我の発生を防ぐべく、マット等の利用を適宜行います。

大津波警報発令時の避難経路図



ミサイルの飛来について

ミサイルの飛来についての考え方と最初の一步

ミサイルの飛来時は、**Jアラートが発令**されます。Jアラートが鳴ったら、**3分以内**にどこかで何らかの被害が発生すると考えられます。大切なことは、その時にとり得る**最善の行動**をとる事です。先ずは地下（地下街・地下鉄・地下室）へ避難します。地下設備が無い場合は、頑丈な建物の中へ避難します。

Jアラート発令時の行動のポイント

- ①キッズ☆スターの中に留まります。
- ②1階2階とも洗面所とトイレへ避難します。（窓からなるべく離れる）
- ③窓がない場所に移動できたら、**着衣やタオル等で肌の露出を防ぎます。**
- ④床に伏せて目と頭を覆います。特に目を守るため、**閃光を絶対に見ないようにします。**
- ④近くにテレビ・ラジオ・インターネットがあれば、SWを入れてボリュームを上げ**情報の収集に努めます。**
- ⑤火気の使用は直ちに止めます。
- ⑥時間があれば、窓にマットを立てる等、ガラスが飛散しないようにします。
- ⑥行政機関の指示を待って行動します。

暴漢の乱入について

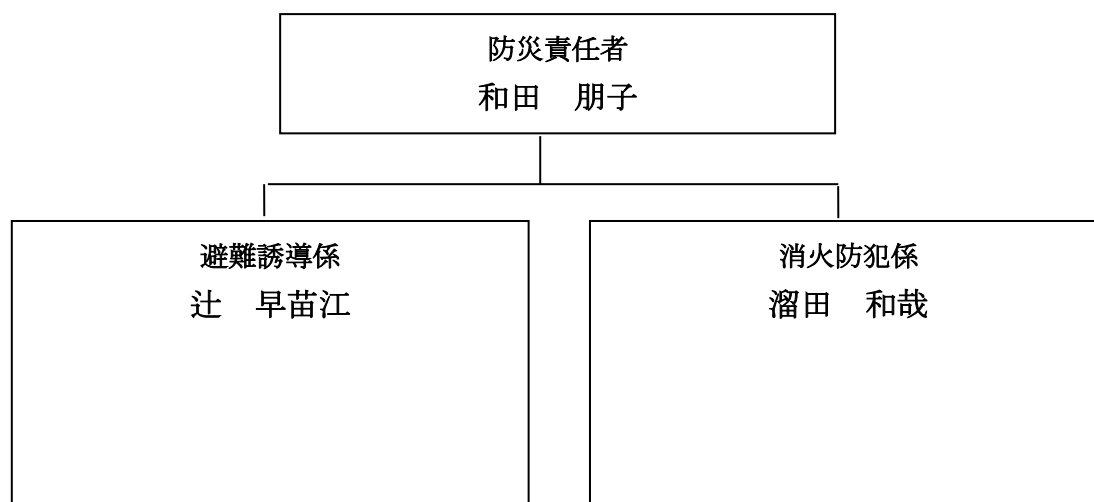
暴漢の乱入についての考え方と最初の一步

人がいきなり乱入してきて、危害を加えると言う事件はそうそうあるものではありませんが、一番の対策は、**建物の中に入れ**ないことです。

暴漢の乱入を防ぐポイント

- ① 1階では、**入り口扉の鍵を、中からロック**します。
- ② 2階では、下の入り口は営業中には開けておきますが、**2階の扉の鍵は中からロック**します。
- ③ 両方とも、訪問者・利用者を確認してからオープンします。
- ④ 訪問者・利用者が中に入ったら、**再びロック**します。
- ⑤ 万が一、侵入を許してしまった場合は、
1階：**プレイルームに絶対入れないように、職員が盾になる。そして内線で『社長、お客様がいらっしゃいます。1階まで下りてきてください。』（合言葉）と落ち着いて連絡**します。内線を受けた人は直ちに110番し、『社長』は1階に下ります。
2階：**児童とご家族を救助袋付近に誘導し、直ちに110番**します。
- ⑥ 小久保交番が近いので、**5分で駆けつけてくれると期待**できます。
- ⑦ 可能なら**消火器を噴射して暴漢の視覚を奪い、動きを抑止**します。
また、消火器の本体を投げつける等しても効果があります。
防火訓練のときに、消火器の扱いに習熟しておきましょう。

キッズ☆スター 防災体制表



各メンバーの役割

- 防災責任者** 発生した事象を把握し、各メンバーの行動指針を決め行動に移す。
110番・119番への連絡が必要か確認し、必要であれば連絡を指示する。
利用者の安全を確認し、緊急時連絡資料を持って、最後に避難する。
- 避難誘導係** 防災責任者の指示のもと、利用者を安全に避難させる。
火事するとき、地震の時、風水害の時、暴漢乱入時、各々の場合に
応じた、避難路を案内する。
特に、子どもがパニックにならないようにフォローする。
- 消火防犯係** 火元の確認と消火活動を行う。また暴漢に対しては適宜に対応する。

連絡先と近隣の避難場所

機 関 名	電話番号	標 高	備 考
明石市役所	912-1111	2. 5 m	24時間対応
明石市災害対策本部	918-5090	2. 5 m	災害時のみ
明石市総合安全対策局	918-5069	2. 5 m	土・日・祝日、時間外は市役所
大久保市民センター	918-5620	14. 6 m	
消防署	119	22. 4 m	(明石消防本部)
警察署	110	20. 8 m	(小久保交番)
明石市水道部	912-1111	2. 5 m	土・日・祝日、時間外は 水道サービスセンター
水道サービスセンター	928-6385	4. 9 m	
関西電力明石営業所	0800-777-8046	3. 1 m	
譜久山病院	927-1514	24. 3 m	870m

避 難 場 所	電話番号	標 高	備 考
児童デイサービス キッズ☆スター	923-2782	22. 6 m	
中谷公民館		20. 7 m	西へ150m (西風避難先)
小久保西公園		22. 7 m	東へ 60m (東風避難先)
鳥羽小学校	918-5475	25. 1 m	980m
沢池小学校	918-5485	25. 5 m	1400m
野々池中学校	918-5860	26. 3 m	1400m
県立明石南高等学校	923-3617	25. 6 m	1500m

標高は国土地理院の電子国土 Web による